

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2013_06_22 東京会場)
 ~電子図書 (マルチメディア DAISY 図書) は、
 特別支援を受ける子どもたちに読む喜びを伝えられるのか~

1. この講座をどちらでお知りになりましたか

新聞・雑誌	0	
ちらし	16	
友人・知人の紹介	9	
ウェブサイト・ブログ	6	当財団 3、その他 3
メーリングリスト	5	出版 UD 研究会 2、校内 TAI1、その他 2
その他	2	
合計	38	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
30	7	1	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア DAISY の可能性の大きさを、事例を交えながら貴重なお話を伺うことができました。 ・実際に現場の抱えている問題、課題、事例、対応を知ることができた。 ・いろいろなお話 (実践例をみせて頂き) を聞いて、ぜひ勤務校でも、実践してみたいと思います。 ・事例を通じて具体的に説明して頂いたので、とてもわかりやすかったです。来週の授業から早速導入していきたいと思います。事例集もとてもわかりやすかったです。 ・事例を紹介して下さったので、具体的でわかった。 ・マルチメディア DAISY のことは勿論、すべての子どもに本の喜びを、という想いを持った人たちが取り組んでいる最新の情報を知ることができてとても有益でした。ありがとうございました。 ・他校の状況、マルチメディア DAISY 全般について知ることによって、これからの活用のアイデアをふくらますことができました。 ・実際の活用例がわかって参考になりました。ありがとうございました。図書館でも、うまく活用していけると思いました。 ・随分、高度な取り組みなので、お話しを伺っていて、障害に対する支援の方法も進歩してきているのだなあと感じました。今後も益々こういうプログラムが続くことを願っております。 ・この数年の活動が、だんだん練れて来た感じを受けました。素晴らしい! ・実践が聞けた。工夫、広がり、有効性、学校での有効性、本の読み聞かせから貸出、授業、授業間へと。良さが多くの場・人に広がりが見られました。当方でもやっていきます。 ・読書のバリアについて、肢体不自由の視点はもっていましたが、それ以外の視点について知ることができて良かったです。 ・先進校の実践例、特に八王子東特別支援学校のお話を聞くことで良かったです。 ・読書バリアフリー、各校での取り組みがよくわかり、大変参考になりました。私自身が、まずは自分の学校で、マルチメディア DAISY 図書を活用し、実践報告していこうと思いました。 ・各校で活用され、子どもたちに読む喜びを伝える支えとなっているマルチメディア DAISY について、知ることができ刺激になりました。 ・マルチメディア DAISY を媒体として扱えるようになり、どのように広まるか不安、行き先がみえずにいましたが、少し先がみえてきました。

- ・初めてこのような研究会に参加しましたが、教員、研究者、ボランティア、民間企業の方など、様々な立場の方が参加されていて、刺激になりました。野口先生のお話は、「障害者サービス入門編」、先生方の活用事例、最後の全国音訳ネットワークの方のご挨拶と、内容が豊かで、頭の中に新たな窓が開けるようでした。
- ・マルチメディア DAISY の実践例を知ることができました。マルチメディア DAISY を手渡すのは、やはり人だと感じました。子どもたちに読書の喜びを届けたいと思います。
- ・現場の実態がよりわかり良かったです。指導者の方のご苦勞、研究など、ご努力がよくわかりました。
- ・院内学級については、知る機会もなく、また、事例（実態）も様々で、指導他、精神的にもご苦勞が多いと思います。関係する方のご今後のご尽力に期待しつつ、マルチメディア DAISY 図書の新なる活用を広げていって頂けたらと思います。世界の子どもたちのために、ご活躍を期待し、応援お祈り申し上げます。
- ・マルチメディア DAISY の扱いと今回の発表者に教えてもらえて、良かったです。
- ・野口先生から現状と課題、そして、支援学校での実状を活用例として聴くことができ、大変に内容、構成ともに良かったです。全国的な展開となることが期待されます。
- ・マルチメディア DASIIY というものが、どういうものか、どういう風に使われているかまで、丁寧に話してくださいました。実際に手にとって触れる事ができたり、見たりする事ができ、とても良かったです。
- ・公共図書館で障害者サービスに取り組んでいます。読みたくても読めない子どもに何ができるか1つの道を指し示して頂いた気がいたします。
- ・公共図書館に勤務しています。恥ずかしながら、多くの子どもたちに、同じような読書の喜びを伝えたいと思いつつ、どのように障がい者サービスとともに取り組めばよいか、知らないことばかりでいます。いろいろな事例を教えてください、バリアフリー出版の例も具体的によく分かり、今後のサービスの参考にしていきたいと思っています。
- ・知らなかった事を多く知ることが出来ました。ありがとうございました。
- ・「わいわい文庫活用術①」の補足説明として、各講師のお話を伺うことができましたので、大変勉強になりました。
- ・活用方法が聞けて良かった。
- ・現場のお話が聞けて良かったです。今後に期待しています。
- ・教育関係の新聞社とはいえ、担当が高校教育だったので、私も今回は大変勉強になりました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・現場での様子がよくわかりました。
- ・具体的な使い方を学ぶことができ、とても刺激になった。
- ・作っている人の声に直接触れることで、身近なものとなりました。がんばってください。私も子どもたちに知らせます。

やや満足の原因

- ・実践がわかりやすく、学べたのが本当に良かった。本校でもやっていきたい。
- ・わいわい文庫を紹介して頂いて良かったです。
- ・伊藤忠記念財団が、このような会を支えているのが、ありがたいです。とても勉強になりました。
- ・バリアフリーの資料について、何も知らなかったのですが、基本的なことから説明してくださったので、野口先生のお話はとても有意義でした。
- ・「見る」「聞く」活動は、小学生、幼児が中心で、認知力が、2～5歳程度の障害をもった、生活年齢の高くなっている生徒へ提示する教材探しをしていたので、今回のマルチメディア DAISY を知り、「読む」「理解する」力へと、つなげられると思い、参加して良かったです。
- ・肢体不自由校での活用例が大変参考になりました。

やや不満の理由

- ・図書館勤務です。Iの野口先生の話は、非常に参考になりました。肢体不自由者や、院内学級は、あまり参考にはなりませんでした。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・私の所属する東芝で開発する、音声の読み上げ技術が、音訳ボランティアの皆様とは違った形でご利用頂けるのではないかと考えております。本日は貴重な研究会の場に参加させて頂き、ありがとうございました。
- ・具体的にマルチメディア DASIIY を作る製法、制作話が知りたい。
- ・様々な情報（障害者にとって利益のある）を引き出しやすいサイトのようなものが、わかるものがあると、うれしいと思いました。「伊藤忠記念財団バリアフリー」のような、短縮の名称「I・T・B」のようなものがあると、いいかなと思いました。圧倒されました。ありがとうございました。
- ・読書バリアフリー研究会の参加者のネットワークのようなものを作って頂いて、いろいろな学校の教員が情報交換できる場があるといいなと思いました。情報に詳しい先生、絵本に詳しい先生など、それぞれの得意分野を生かしていけば、素晴らしいものが作れそうだと感じました。
- ・マルチメディア DASIIY 図書を特別支援学校だけでなく、療育センターにもぜひ発送して頂ければと思います。例えば、埼玉では「中川の郷療育センター」「療育センターさくら草」など。OT や PT の訓練でも導入して頂けるといいなと思いました。本日はありがとうございました。
- ・発達障害の子どもへの活用についても、今後事例がほしいです。「わいわい文庫ではこんな本があるよ」には、自閉のお子さんが好きになるようなもの、車、電車…（図鑑的なもの）がありそうですね。使えるかもしれません。
- ・YA 向けの本やファッション雑誌などがあると中高生向けになると思います。
- ・子ども達のために、これからも続けてください。協力できることは、していきます。
- ・本日の川口先生のこれからのマルチメディア DASIIY の提案にありました、外国人向けも作ってみては？NHK「エリンが挑戦！にほんごできます」が参考になるかもしれません！
- ・最後にご紹介頂いた短縮版は障害の重い子どもにとって、良いものだと思います。特に文字を獲得する段階の子どもにとって良いと思いました。授業場面でも活用できると思います。また、絵をずっと見ていることができるので、視覚的にも良いと思いました。
- ・伊藤忠記念財団の職員の皆さんの熱い想いや、関係機関の方々がかわっている中で、あの1枚ができていくことを知れて良かったです。現在、研究に取り組んでいますので、そちらでお返ししたいと思います。（現場の声が、必要なことがよくわかりました。）どうぞよろしく願いいたします。できましたら、このような発表会は、年度内にやって頂けると、学校現場としては助かります。私も、今年度、図書指導部の業務に入りました。昨年度、研究を中心とした教員が異動や、校務分掌が変わると、発表者がたてられない状況もおこりますので…。どうぞご検討ください。
- ・羽鳥先生、禿先生、川口先生の実践的なお話が大変参考になりました。今後ともよろしく願いします。
- ・しかしながらやはり、ハード面の敷居の高さは、こえられる自信がありません。よい機会をありがとうございました。
- ・最後のおはなしがとても参考になりました。長い間、ハンディキャップサービスに携わる中で考えてきたところは、PR、広げていく大変さです。ご苦労が、ひとごとに思えませんでした。前向きな姿勢、研究心、見習います！
- ・3名で運営されているということに、本当におどろきました！
- ・今後もよろしく願いいたします。隙間になって手が届かないところなので、沖縄だけでなく、北海道と東京を作ってください。修学旅行の学習に使えます！
- ・もとは、海外の規格の様なので、その実践があれば、日本でも少し推進力が付くのではと思います。本日はありがとうございました。

- ・特別支援校への支援、大変良い活動です。病院の患者図書室への支援にもどうぞ展開してください。高齢者施設への展開も可能と思います。
- ・羽鳥先生の事例、とても分かりやすく、ヒントとなることが多く盛り込まれており、嬉しく思いました。画像を注視することの難しい生徒へ、彼らの実態に合わせて、動画（静止画）を提示できるのが分かりました。自分の授業でも、取り入れられるよう、まず、自分が使いこなせるようにしていきたいと思います。羽鳥先生がバックを黒でみせてくれた「せんたくかあちゃん」のような、バージョンも多くできると、感覚刺激に響かせられると思います。
- ・是非、これからも継続してください。
- ・より多くの方がこういうことを知ることができるように、もっと広がってほしいと思います。物語のほか、ノンフィクション（修学旅行、調べ学習など）も、どんどん増えるといいですね。伊藤忠記念財団の努力には頭が下がります。たった3人の部署だったなんて！！
こういうことについて、知識もないような私のような人間が学ぶ場を増やして頂ければ、うれしいです。
- ・「ちょっとの間」の休み時間や通学時間にマルチメディア DASIY を使用との話がありましたが、こだわりが強い子にはどのように切り替えているのかと思いました。国際化に伴い、学校にも多国籍化が広がり、様々な母国語の子どもがいるので、そのような状況においてもマルチメディア DASIY は有効だと思いました。
- ・伊藤忠記念財団のご苦勞がよく分かりました。もっといろいろなところで、多く利用されますように心より願っています。
- ・葛飾区内に、肢体不自由と知的の併置校が新設されますので、開設校長先生に本日の資料を渡したいと思っています。本会はとても有意義でした。お疲れ様でした。
- ・iPad での使い方を、もう少し、誰でもできるように講習会があるといいなと思いました。あまりにも初心者なので。
- ・保護者にも貸したいのですが、学校に CD が1枚なので増やしたい。もっと欲しいのですが。